

## 平成25年度新エネルギー産業（電池関連）創出事業補助金 採択案件の概要

※五十音順

計画名称	EV（電気自動車）に必要な温度管理に優れたバッテリーケースの開発
事業者名（本社所在地）	EV 大阪（羽曳野市）
計画の概要	放熱性の高い材質を組み合わせるとともに、構造に工夫を加え、高温時には走行時の外気をうまくヒートパイプに伝えて冷却し、低温時にはモーターの発生熱を利用することで一定の温度管理が可能なバッテリーケースを開発する。

計画名称	バッテリーマネジメントシステム研究開発、実証実験
事業者名（本社所在地）	株式会社 EV ジャパン（豊中市）
計画の概要	登坂道や下坂道走行時などのバッテリーの急激な電圧変化状況下でも、電圧を安定的にコントロールできる汎用的なりチウム電池用マネジメントシステム（BMS）を開発する。

計画名称	蓄電池に利用する絶縁電着塗料の開発
事業者名（本社所在地）	株式会社シミズ（大阪市）
計画の概要	蓄電池の膨張や発熱、劣化対策として、電極や収納缶等に用いる絶縁性・電解液耐性・均一塗装性に優れた電着塗料（エレコート）を開発する。

計画名称	金属セパレーターを使用した燃料電池開発とカートリッジ化
事業者名（本社所在地）	新日本工機株式会社（大阪市）
計画の概要	従来のカーボン製に代わる金属製セパレーターの開発により、コンパクト化・コスト低減・耐衝撃性の向上をはかる。また、金属セパレーターと電解質膜を組み合わせセルを積層しカートリッジ化することにより、汎用性が向上するため、様々なアプリケーションへの活用が可能となる

計画名称	リチウムイオン2次電池電極（負極）用バインダーの開発
事業者名（本社所在地）	センカ株式会社（大阪市）
計画の概要	従来のSBR系バインダーと比べて、電極基材と活物質および活物質同士の結着効果が強く、少量の添加で効果を発揮するバインダーを開発することにより、電極の抵抗値を低く抑えて、電池特性の向上や電池容量の増加をはかる。

計画名称	FID工法によるリチウムイオン電池ケースの開発
事業者名（本社所在地）	富士金属株式会社（豊中市）
計画の概要	独自技術による工法により、従来の絞り工法と比較し、リチウムイオン電池ケースの製造工程を大幅に短縮することが可能になり、製造コストや希少金属使用量の低減につながる。

計画名称	服型リチウムイオン電池（Wearable Battery）の技術開発
事業者名（本社所在地）	八洲電業株式会社（大阪市）
計画の概要	スマートフォンを7日間連続使用できる小型軽量電池セルと制御回路を開発するとともに、それらを組み合わせて衣服として着用可能な電池システムを製作する。

計画名称	重力式マイクロ水力発電による蓄電システム
事業者名（所在地）	ユニアス株式会社（大阪市）
計画の概要	未利用の都市排水を活用した無燃料発電・蓄電装置の製作・実験データの取得・分析を行う。